



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254 (27) 2505

NEXT ONE. (ネクスト・ワン)

去年は邦画「君の名は。」や「シン・ゴジラ」などが大ヒットし、映画館に足を運んだ中学生も多かったようです。そんな若い映画ファンの人たちにはあまり知られていないかもしれませんが、チャールズ・チャップリン(1889-1977)という有名な映画監督がいました。『街の灯』『モダン・タイムス』『独裁者』などの数々の喜劇映画を監督し、「喜劇王」とも称されました。



英国の貧しい家庭で育ちましたが、晩年にはアカデミー賞を受賞するという輝かしい業績も残しました。映画監督としての名声も高かったチャップリンですが、周囲から賞賛を受ける日々だけではなく、時には製作した映画を厳しく批判され、又、50歳台の頃には、住んでいた米国から“危険人物”とのレッテルを貼られて事実上の国外追放の処分を受け、スイスに逃れるという苦しく辛い日々もあったそうです。

チャップリンは、生前、周囲から「あなたの人生で最高傑作は何ですか？」と尋ねられたときには、「私の最高傑作は次の作品(Next One)です。」と答えていたそうです。数々の賞賛を受けてきた自分の過去の作品を自慢するわけでもなく、又、幾多の困難を受けてきた体験にくじけることなく、現状に決して甘えることなく、将来だけを見据えて「これからもチャレンジし続ける」という気持ちを表した有名な言葉です。貧しい境遇のなかでも、笑顔を忘れずに、常に前を向いて生き続け、世界中の人々を感動させたチャップリンにふさわしい言葉だと感じます。

明日(7月25日)から30日以上長い休みに入ります。学校生活から離れた日々の中で、もしも困ったり、辛い時間を過ごしたりした時には、悩みや苦しみを一人だけで抱えてしまうのではなく、チャップリンの言葉のように「明るい未来」を見据えて、前向きに生活し、次の日こそが輝かしい一日になることを信じて生活してほしいと思います。また、長い夏休みの期間には、自分の思い通りに行かず、イライラとした(あるいはモヤモヤとした)一日を過ごすときもあるかもしれませんが、NEXT DAY(=TOMORROW 明日)とあなたの将来のために、明るく元気に生活していきましょう。悩みや苦しさから困難な状況に陥りそうな時には、ためらうことなく家族をはじめ、学校(TEL 27-2505)や友人に相談してください。

100歳を越えても小中学校で「いのちの授業」を重ねてきた医師、日野原重明さんは、子どもたちに「いのちとはなにか」と問いかけ、「毎日、勉強したり遊んだりしながら、きみたちのもっている時間を使っているんだよ。時間を使っていることが、きみが生きている証拠。だから、これから生きていく時間こそがきみたちのいのちなんですよ。」と話しています。そして、「いのちを愛する人間になってほしい。大きくなったら、きみのもっている時間を周囲の人のいのちのために尽くしてみたらどうですか。」と伝えています。チャップリンも、自分のいのちを通して世界の幸福のために喜劇映画をつくり続けた人だったのかもしれません。

*チャップリンの映画「独裁者」終盤で大衆に向けて演説するシーンは、映画史上の名演説として有名です。鑑賞してみましょう。(参考資料：日野原重明著『いのちのおはなし』講談社)

全校道徳でいじめについて考えました。

7月13日（木）5～6限の2時間、全校生徒が体育館に集まり、「いじめのない学校をつくるために私たちは何をしていけばいいか」について話し合い、考えを深めました。当日は「えんたくん」という円い卓上ボードを使い、全員が自分の考えを書いて、それを説明し、さらに「ワールドカフェ」という手法も活用して、話し合いを深めました。



体育館に10グループが分かれて、3年生のリーダーを中心に、各自が自分の意見を出し合い、話し合いました。



←ダンボール製の円い卓上の紙を「えんたくん」と呼びます。

3年女子I 「えんたくん」で話し合いをすると班の人との距離が近くなるので、声が小さめの人がいたときでも役立つと思った。そのおかげで、あまり緊張もせずに話せました。今は佐中ではいじめはないと思うので、この話し合いで出たことを実行して、みんなですらに居心地のよい環境がくれたらいいと思いました。いろんな人たちの考えを知ることができて楽しかったです。

3年男子Y 自分の班では出なかった意見（考え）が他の班にたくさんあったし、その逆もいくつかあったため、いじめのない学校を作るにはこんなにもたくさんの方法があるんだと感動した。

3年女子H 前回の全校道徳のいじめについての話し合いの時よりも、みんながたくさん意見を出してくれてよかったです。また、いろんな班の人たちと意見を共有できて、さらに深く考えることができたのでよかったです。

3年男子T 僕は今回の全校道徳でもリーダーとして全体（班）をまとめることができたと思います。班員1人1人も自分の考えをたくさん書いてくれて、僕も納得できる意見もありました。ワールドカフェでは、他の班の人と仲良く意見を深めることができました。楽しかったです。

3年女子I 「えんたくん」を使うことで、みんなとの距離が近くなるので、とても話しやすかったし、たくさん意見が出ました。また、ワールドカフェをすることで、他の班の意見もたくさん聞くことができてよかったです。いじめをなくすためにできることはまだまだたくさんあるなと思いました。

3年女子G いつもの道徳の時間よりもたくさん意見を出せてよかったです。全校でいじめについて考えることはとてもいいことだと思いました。また機会があれば、「えんたくん」を使って話し合いをしたいです。

3年女子S 今回の全校道徳でいじめについて改めて考えてみて、今までにないいい考えやおもしろい考えがたくさんありました。できることをぜひ実行してみたいなと思いました。

2年女子M 「いじめのない学校を作るために」というテーマで話し合い、私たちは「人とかかわる」や「1人でいる人に話しかける」「元気なあいさつをする」などが出ました。少しでもいじめを減らすために、今回出した考えを生かしていこうと思いました。



2年男子S 班のメンバーで「相手のことを考える」と書いていた人がいて、その通りだなと思いました。自分ももしかしたら誰かを傷つけているかもしれないので、行動する前に相手のことを考えてから行動していきたいです。また、班での話し合いでは、自分の意見を積極的に言うことができたので良かったです。

2年男子S 話し合いで自分の意見をしっかりと伝えられたので良かったです。「無視をしない」などの意見がたくさん出たので、そうならないようにこれからも気を付けていきたいと思いました。

2年女子N 私はあまり自分の考えを書いたり、話したりできなかったけれど、他の人から意見がいっぱい出てきて、「なるほど」と思いました。

2年男子I 自分の班のメンバーと Happy な学校生活を送るためにどのようなことをすればいいかや特に大切なことは何かなどたくさん話し合えたので良かったです。他の班の人とも話し合い、意見を交換できたのも良かったです。

2年女子T 「ワールドカフェ」という他のグループの所に行ってそのグループで話し合われた内容を聞く活動では、自分たちの班では出なかった意見がいろいろあって、なるほどなと思いました。佐々木中はいじめゼロで平和な学校でいてほしいなと思いました。



1年男子I 同じ班の人たちが真剣に考えて出てきた「いじめのない学校を作るために」の案はどれもとてもよいものだと思います。いじめをゼロにすることは大切なことだと思います。

1年男子S いじめを無くすことはとても大変なことだと改めて思いました。一人でいる人や困っている人に「話しかける」といった考えもありましたが、実践するのは難しいです。簡単に見えて、なかなかできません。僕も前回の全校道徳でもそう思い、実践してみましたが、できませんでした。実践することは難しいことが分かりました。

1年女子I 班の中で自分の意見を「えんたくん」に書いたり、発表したりする活動が楽しかった。他の班を回る活動では、今まであまり話したことが無かった人ともたくさん話ができよかった。

1年女子W 「いじめのない学校を作る」ために全校で取り組める案があまり出なかったけれど、今取り組んでいる活動を発展させていくことでもっと全校と仲良くなれるような提案がたくさん出ました。3年生の意見がおもしろかったです。

1年男子Y 自分たちが学校をよくするにはまだまだたくさんできることがあると分かりました。自分が一番いいと思った案は、生徒会レクなどを増やすことです。もう少し増えればもっと中学校が明るくなると思ったからです。

7月の生徒朝会から

1学期も残り数日となった7月19日（水）に、「生徒朝会」が行われました。

生徒会長の話 生徒会長 五十嵐さん

全校生徒のみなさん、おはようございます。

下越大会も終わり、今週末の県大会に向けて練習に励んでいることと思います。県大会までの残りの日々の練習を一生懸命にがんばり、よりよい成績を目指してください。

今月の生徒会の取組の「『すごい花』を咲かせよう」と「(広島平和記念式典への参加のための)千羽鶴づくり」へのご協力、ありがとうございます。もうしばらくの期間、千羽鶴へのご協力をお願いします。

佐中フェスティバルでは毎年熱戦が繰り広げられています。今回のフェスティバルでも楽しく盛り上がりましょう。佐中フェスティバルへの参加が年々減ってきています。後期にも、佐中フェスティバルが予定されていますので、多くの生徒のみなさんからのパフォーマンスへの応募をお願いします。最近では天気が安定しない日が多く、気分がなかなか上がりません。1学期の残りの日々を気分を上げてがんばっていきましょう。



「すごい！の花」がたくさん咲きました。



「すごい！の花」を募集するという生徒会の取組が、生徒玄関の所で約1ヶ月間に渡って行われていました。花びらが1枚1枚増え続け、左の写真のようにたくさんの花が咲きました。毎日の学校生活の中で生徒や教職員が取り組んでいる様々な活動が、いろんなところで誰かに見られ、それを「スゴいなあ」と評価してくれる人がいる。そんな温かな学校の雰囲気これから大切にしていきたいでしょう。

以下に、『すごい！の花』をいくつか紹介します。

○佐中生全員が毎日あいさつを大きな声でしているのすごいいと思いました。

○生徒会が見えないところでみんなを支えていてすごい！

○けが人も病人も少ない！毎日元気な佐中生はすごい！

○吹奏楽部の皆さん、演奏が上手くすご〜い！

○「すごい花」を考えた人がすごい。

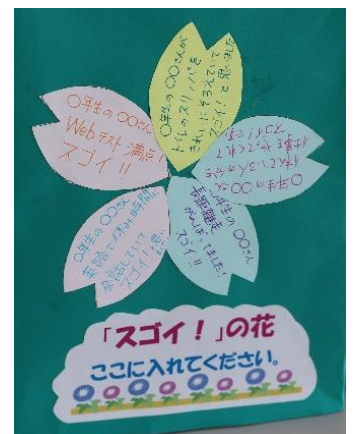
○風間用務手さん、かげで学校のためにきれいにしてくれていてスゴイ。

○1年生の体育授業の長距離走。お互いに応援をされていてスゴイ。

○柔道部3年生。佐中サーキットの時の「ファイトー！」のかけ声はみんなに

元気を与えてくれています。ありがとう。

○応援団のみんなが激励会を盛り上げてくれました。迫力がスゴイ。



盛り上がった！佐中フェスティバル！

7月19日（水）、夏の暑さと生徒や教職員の熱気でいっぱいの体育館で、佐中フェスティバルが開催されました。第一部の「バレーボール大会の部」と第2部の「パフォーマンスの部」が約4時間にわたって繰り広げられました。

参加したり、応援したり、踊ったり、拍手を送ったりする生徒たちの表情からは、「中学校生活は楽しい。」という気持ちが伝わってきました。

3年 磯部さん 前年度よりもパフォーマンスに参加してくれた生徒の数が減ったのはちょっとさみしかった。でも、とても楽しい企画がたくさん出来たし、今回の盛り上がり、体育祭や他の行事につなげていきたい。生徒会の劇の脚本づくりがなかなか難しかったけど、みんなが楽しんでくれてうれしかった。



2年 古山さん 準備では、パフォーマンスへの出場者を募集するビラ配りの時に、ビラを受け取ってくれない人がいて大変でした。パフォーマンスに前年度に引き続いて出てくれた人もいましたが、今後は、新しく希望する人が出てくれることを、期待しています。全体のバランスも考えながら、レクのバレーボールの班編制を考えるのに時間がかかりました。

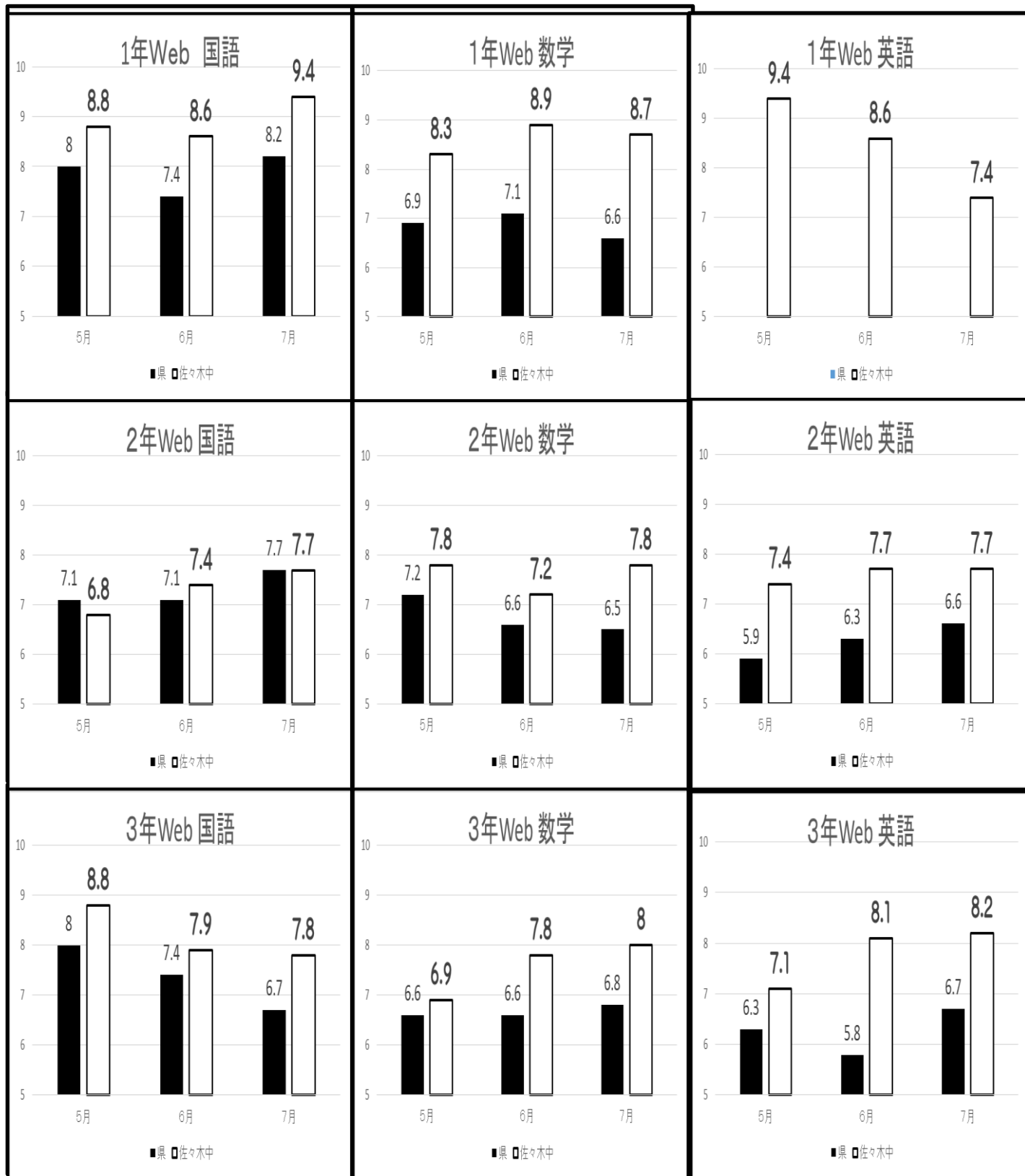


2年 坂井さん 生徒会レク（バレーボール）は来年度も引き続き開催したい。僕たち2年生は来年度は最上級生。よき伝統を引き継ぎ、2年生が中心となって大いに盛り上げていきましょう。



平成 29 年度 Web 配信集計システム 国語・数学・英語の結果推移

今年度の5、6、7月の3回の Web テストが行われました。毎回生徒たちが一生懸命に取り組み、県平均値（黒いグラフ）と比べても、佐々木中の平均値（白）が多く回の回で上回ることができました。S Q（佐々木クイズ）と併せて、この Web テストにしっかり取り組み、基礎学力そして応用力・思考力の基盤となる確かな学力を育んでいます。



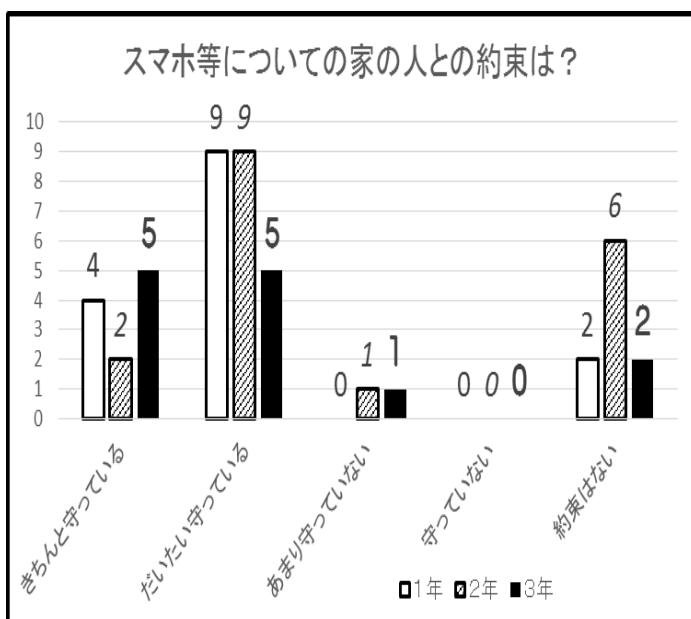
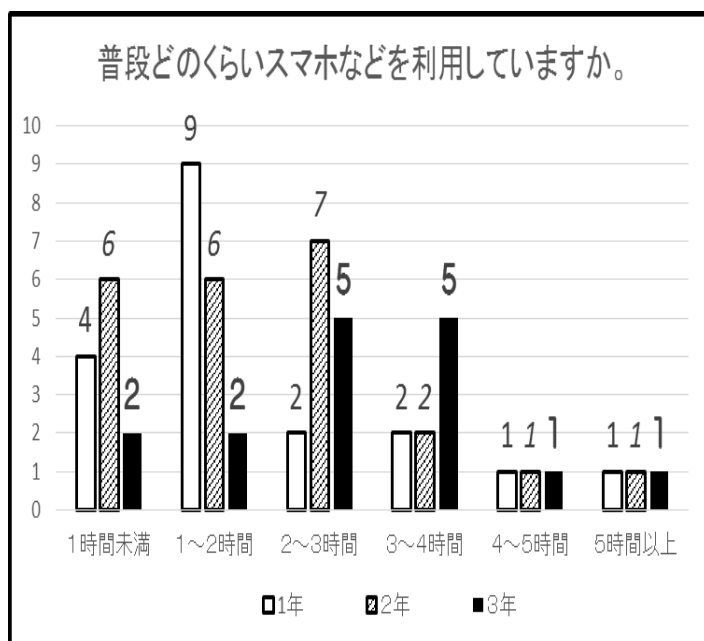
1 学年英語は、次回（9月）から始まります。夏休みの学習課題に計画的に取り組み、1 学期に学習した内容をしっかり復習しておきましょう。

夏休みこそ、自分の生活をきちんと管理しよう。

夏休みが始まります。夏休み前には、自主自律を目標に据え、きちんとした計画を定めています。

自分の命は自分で守ることの大切さと同じように、自分の日々の生活をきちんと自分自身で管理できるように心がけましょう。自分の生活習慣をコントロールしていく上で、現代の中学生にとっての大きな障壁の一つはスマホなどの情報端末の存在です。情報端末と上手に付き合いながら、充実した夏休みを過ごしましょう。

先日、新発田市学校警察等連絡協議会の依頼を受け、「スマホ等の情報端末についてのアンケート」を実施しました。その調査の一部を紹介します。（【情報端末】には、スマホ、携帯、インターネットに接続できるゲーム機などが含まれています。）



* 〈スマホや携帯などを持っていない〉と答えた生徒数は、1年：5名、2年：5名、3年：3名

た生徒数は、1年：5名、2年：5名、3年：3名

左上のグラフからは、「毎日2時間から4時間程度スマホ等の情報端末を利用している」3年生が約10名いることが分かります。また、右上のグラフからは、「スマホ等を利用する上での家族内での約束事がない」生徒が2年生の約3分の1いることが分かります。

携帯電話やスマートフォンの3つの「しよう」と6つの「しない」

携帯電話やスマートフォン（スマホ）には便利なことがいっぱいあります。しかし、正しく使わないとあぶないことに遭ったり、自分や他人を傷つけてしまう事もあります。

① 時間を守ろう

- a)夜の遅い時間は使用しない。
- b)長時間の使用はしない。

② 自分も相手も大切にしよう

- c)人の悪口を書き込まない。
- d)いじめをしない。

③ 家族とルールを話し合おう

- e)自分の部屋には持ち込まない。
- f)勉強中や食事中は使わない。

参考：「学校保健」平成29年5月号（公財 日本学校保健会 発行）

別紙：「中学生の保護者の皆様へ スマートフォンの推奨ルール」も併せてご覧ください。

楽しく充実した夏休みを過ごすために

自分の命や体を自分で守るためにも、正しい情報を把握し、しっかりとした対策を立て、大きな事故にあう前に未然防止に努めましょう。

”ヒアリ”に注意しましょう！！

【ヒアリってどんなアリ？】

- ・2.5mm～6.5mm位の大きさで、色は赤っぽくツヤツヤしていて、腹部の色は暗めです。先端がこん棒状の2節の大きな触角と、胴体と腹部の間の2つのコブが特徴です。
- ・巣は土で作られるドーム状に盛り上がったアリ塚が目印です。
- ・腹部先端に毒針があって、刺されるとやけどのような激しい痛みがあって、アレルギー反応により死に至ることがあります。



ヒアリ（環境省HPより）

※
号

【ヒアリに刺されたら？】 ヒアリの毒への反応は人によって異なります。刺されたときは安静にし、急激に容体に変化する場合には速やかに最寄りの医療機関を受診してください。

【ポイント】 ヒアリを発見しても、踏みつけたり、（死んでいても）素手で触れない！市販の殺虫剤（噴射式）を使用する、熱湯をかける、ベイト剤（毒餌）を設置することで駆除できます。

【ヒアリと思われるアリを発見したら、下記までご連絡ください。】

新潟県 県民生活・環境部環境企画課 TEL：025-280-5151（自然保護係）

最寄りの保健所 TEL：0254-22-5104（新発田地域振興局健康福祉環境部）

新潟県教育庁保健体育課作成 「ヒアリに注意しましょう」より

海水浴や水遊び時には、海岸での「戻り流れ」に注意してください。

戻り流れが発生しやすい地形

- かまぼこ状に一定間隔で砂浜の起伏が続く海岸
- 波打ち際の近くが急に深くなる海岸
- 波打ち際付近で波が砕け白波が立つところ
- 波が砂浜に長く遡上するところ（砂浜がぬれている）



上越市柿崎区上下浜 (H23撮影)

戻り流れの特徴

- 強い波の日に発生
- 砂浜の上で速く強い海へ戻る流れが発生
- 離岸流れよりスピードが大
- 発生間隔が短い（クシの歯状）

浜辺からチェックできること

沖側に白波が等間隔で発生



上越市柿崎区上下浜 (H26.11撮影)

新潟県土木部河川管理課河川海岸維持係作成「海岸での戻り流れに注意」から

海では、「離岸流（りがんりゅう）」や「戻り流れ」に注意が必要です。離岸流は、最大で100メートルも沖合まで流されます。「戻り流れ」は離岸流の3倍もの強い力のある引き波で、一度流されるとおぼれてしまうこともある危険性が潜んでいます。

他にも、交通事故を始め、夏季特有の熱中症事故や落雷事故にも十分気を付けてください。

夏休みも充実した体験を！

広島平和記念式典に参加してきます。

3年 I

8月5日（土）から7日（月）までの3日間、新発田市の広島平和記念式典派遣事業により、佐々木中学校の代表として広島に行つて来ます。私にとって初めての広島訪問です。

戦争当時の出来事や原爆投下をもたらした被害、そしてこれからの平和な毎日が続いていくために私たちは何をしていけばいいのかなど様々なことを学んできたいと思います。先日の被爆体験者講演会の際に、広島で被爆された方からお話をお聞きし、ごく普通に日々を過ごしていた人々が、原爆投下という一瞬の出来事により、その後とても苦しくつらい体験をされていたということ改めて学ぶことができました。被爆された方々や広島の人々の気持ちを考えながら、広島での平和記念式典に参加し、貴重な3日間を過ごしていきたいです。今まで私は、写真や文章などを通して広島原爆について学んできました。今回は、広島派遣の一員として実際にその地を訪れることができます。約71年前に原爆が投下された広島で学んだことを、学校に戻ってきてから、全校生徒のみなさんにも少しでも多く伝えることができるように、たくさんのことを体験し、学習してきます。

わたしの主張 新発田市大会

7月22日（土）開催

佐々木中学校代表

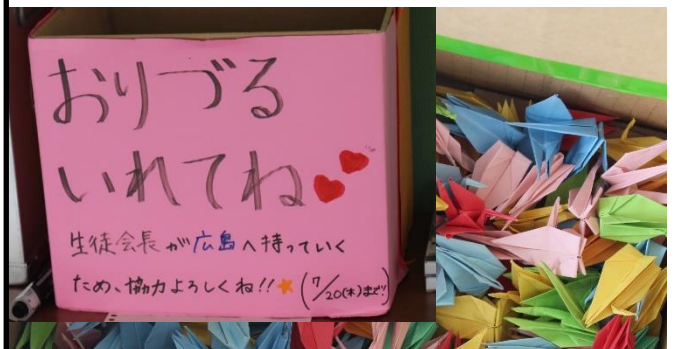
「**勇気のスイッチ**」 2年 I

「わたしの主張 新発田市大会」が開催されました。新発田市生涯学習センターで新発田市内10中学校の代表が集まり、中学生の今だから感じる素直な気持ちを自分の言葉で発表しました。

2年生岩渕さんの発表は、**優秀賞**に選ばれ、新発田市の代表として、「わたしの主張 三市北蒲原地区大会」（日時：8月17日（木）13:30～16:00 会場：胎内市産業文化会館）に出場することとなりました。

Iさん

ステージ上で発表する時には、とても緊張しましたが、自分の発表が伝わるように、聴衆の人たちの顔をしっかりとみて発表しました。結果発表のときもドキドキしましたが、優秀賞に選ばれて、とても嬉しかったです。



生徒一人一人の平和への祈りを、広島へ訪問する3年Iさんに託そうと、多くの生徒が千羽鶴を折りました。

長岡平和学習会

7月26日（水）開催

佐々木中学校代表

2年 S

2年 F

昭和20年8月1日夜の長岡空襲により1400名以上の人命が失われました。長岡市を訪れての平和学習に生徒2名が参加します。

挑戦し続け、笑顔が輝いた一学期(7月後半の生活から)

1学期(73日間)も、全校生徒65名がそれぞれの目標の実現に向け、元気に学校生活を送ることができました。夏休み期間にも生徒全員が健康に留意して、規則正しい生活を心がけて、2学期始業式には元気な顔で集まりましょう。



7/14 通信陸上大会で、ビッグスワンスタジアムのオーロラビジョンに映し出された決勝レース



7/19 3年生 ジョブワールド訪問



7/15 2年生PTA親子レクリエーション



7/19 生徒会歌の指揮



7/19 生徒朝会 各専門委員長からの話



7/20 グラウンドでの巴(ともえ)練習



7/20 県大会に向けての選手激励会



7/20 9月の体育祭に向けての全員でのパフォーマンスの練習

